■進行管理についての質疑応答

●**２－４－１要保護準要保護児童・生徒援助事業**は、就学のための経済的支援ですが、このような家庭が増えることは望ましいことではなく、教育の問題が福祉の問題と連動すると思うがどう考えていくのか。

＜**回答・学務保健課**＞最近の状況としては、H22 年度は対象者が前年度に比べ大きく増加しましたが、H23 年度の伸び率は若干減少しています。この事業については福祉的な意味合いが強く、生活保護受給者への助成が年々増加しています。国の法律に沿い援助事業を行っていますが、市独自の取り組みとして、今年度から卒業アルバム購入費を支給しています。

●**３－２－２学校適正配置研究事業**は A 評価となっているが、内容を確認したい。

＜**回答・学務保健課**＞直近の課題として、サスティナブルスマートタウンの住宅建設が影響する辻堂小学校と湘洋中学校の学区について検討しています。

●**３－３－３学校施設環境整備事業（空調設備整備）、３－３－４学校施設環境整備事業（管理諸室等空調設備整備）、３－３－５学校施設環境整備事業（外壁補修塗装及び屋上防水補修）**について C 評価であるが。

＜**回答・学校施設課**＞財政的な事情がありますが、現在トイレ改修・空調整備を優先的に進めています。一般財源のみで対応するのは厳しい状況にあることから、今後は特定財源を確保しながら順次進めて行きたいと考えております。

●**５－１－４文化活動支援事業**について、H27 年度の目標が１５団体となっている。最近では社会教育団体の活動が縮小ぎみであるとか、担っている方が高齢化しているなどの問題があるが、藤沢市では活動団体数が増えているのか。

＜**回答・文化推進課**＞市内 13 公民館には多数の文化団体が活動しており、助成事業を実施しています。少子高齢化の中で難しい部分もありますが、各団体とも若年層（小・中学生）を取り組んでいく努力もしており、毎年公民館で行われる文化祭に家族で参加しています。本市では、過去からの積み上げとして、市民会館・公民館などを活動の集大成を発表する場としています。

●**７－２－４放課後子ども教室推進事業**はあまり拡大されていないと聞いている。現場の意見を聞いて支援してほしい。

＜**回答・青少年課**＞本事業の拡大にあたっては、各小学校の余裕教室の状況や、学校・地域からの要望と協力を得ながら、実施していきたいと考えております。また、現在実施している２校につきましては、今後も各運営委員会、学校と連携を図りながら、放課後の子どもたちに安全で安心な居場所、遊び場を提供できるようにしていきます。

●**７－２－５学校・家庭・地域連携推進事業の三者連携事業**は年齢層も幅広く、多数の団体と関係する事業である。地域の団体（おやじの会）としてこれからも進めてほしい。

＜**回答・生涯学習課**＞各地区のいろいろな団体が子どもの育ちを支援していく重要な事業です。おやじの会は自主発生的、側面的に支援していきたいと考えております。

全体的なご意見

Ａ評価が多く、概ね順調に進行していると思われる。意見を申し上げた部分については、今後の参考として進めてほしい。